

## 2010 年度第 3 回番組審議会議事録

1. 開催日時 2010 年 9 月 15 日（水）17：30～18：30

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8 名

3-2. 出席委員 7 名 平川愛恵・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・西修

3-3. 欠席委員 1 名 高木邦子

補：放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第 3 回審議番組：夏休み特別企画 ラジオドラマによる連続大学講座

「メディアってなに？」 7 月 20 日(火) 13：00～13：20 放送

声の出演：ナニ／三木華子、教授／内屋敷保、ヤン／金千秋

原作：「娘と話す メディアってなに？」 著者：山中速人

発行：現代企画室 2009 年 1 月 31 日

脚本：山中速人 構成・編集：金千秋

まちはイキイキきらめきタイム火曜日(12：00～13：30)の 13：00 からのコーナーである、関西学院大学総合政策学部山中速人研究室発多声の実験ラジオ番組「耳をすませてリスニングトゥゲザー」で放送されたラジオドラマ。全 10 話中の第 1 話。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【平川愛恵委員長】

- ・ ラジオドラマは好きでよく聞くので聞きやすかった。
- ・ ナニ役の方が文章になれておらず役になりきれしていなかったのが残念であった。聞いていてここは大事だと私が感じたところをスムーズにしゃべっていないと思った箇所が多かった。
- ・ 10 話のうちの第 1 話なので続きが楽しみである。

【正岡健二委員】

- ・ 全体としては聞きやすかったが、設定と効果音が合っていなかったのではないかな。
- ・ ドラマというよりも朗読に感じられた。見えるように聞かせる、演じることが必要。

【西修委員】

- ・ 台詞がト書きのようである。ドラマ用の本ではないので脚本に無理があったと思われる。

【山本幸男委員】

- ・ 神戸が舞台の話にしては効果音が合っていなかった。
- ・ アクセントが違っていた語があったのでもっと練習してほしい。

【萩尾利雄委員】

- ・ 話し方に抑揚、変化がないところと、効果音の入れ方がとても気になった。
- ・ 内容に興味を引かれた箇所もあったので今後どんなテーマで進んでいくかが楽しみである。

【木辻清子委員】

- ・ 期待して聞いたが、原稿を見て読んでいるように聞こえて少しがっかりした。
- ・ 登場人物の顔を浮かべながら聞いた。内容に興味があるので続きを聞いてみようと思う。

【為岡務委員】

- ・ ドラマとしてもっと脚本に演出的なものが必要ではないか。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ ナニ役の三木さんは高校生で放送部所属。収録、編集には時間が掛かった。
- ・ 効果音は素材が少なく選択肢が限られる。
- ・ この回は第1回なのでその他の回も是非聞いていただきたい。FM わいわいのホームページから「山中研究室発 多声的文化批評」のブログページへアクセスすると、ポッドキャストで全ての回を聞くことができる。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 担当者に連絡

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送・・・2010年10月2日12:00～13:55の番組内で放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上